

JAみのりの広報誌7月号には生活科学科3年久保田さんの「ロースビーフたっぷり!もち麦ライスバーガー」のレシピが掲載されました。

西脇市の黒田庄和牛と加東市のもち麦を使ったバーガーで、お好みで野菜を添えてアレンジできるそうです。また、もち麦の収穫の様子も同時に掲載。こちらの様子は広報誌「かとう」にも掲載されました(下段左写真)。「令和4年度もち麦収穫」と題して昨年に引き続いての収穫のお手伝いです。実際に収穫をすることでもち麦への愛情もわき、さらなる商品開発に役立てることができそうです。そして、広報誌には「ジャムを使ったレシピをご紹介します」ということで生活科学科3年神田さんと畠山さんが「いちごのバナナコッタとバナナコッタショコラータ」のレシピを紹介。いちごジャムを使ってのスイーツでした。加東市との連携を深めて、毎年いろいろなことにチャレンジしており、それらが紹介されることは大変嬉しいですし、生徒たちにも励みになることです。多くの紙面を割いていただき、本当にありがとうございます。もち麦を使った「ねぎもちっとホットク」はよいよ商品化に

向けて大詰めを迎えています。1、2年生も3年生の活躍に追随するようそれぞれの課題を持って研究に取り組んでいます。継続した学科の取組に期待しています。



また広報誌「かとう」の表紙は本校野球部の応援誌のように写真が掲載。見開きは後藤主将のインタビュー記事。そして、山本監督のコメント、阪神タイガース近本選手と楽天イーグルスの辰巳選手の応援コメント、さらにはマネージャー代表藤本さんの話と寮の調理員代表の大島さんの激励等とても



盛りだくさんの内容に甲子園出場への地元の期待感の高まりを感じます。夏の大会は最高でもベスト4止まりで、決勝の経験がありません。昨年秋の県大会が甲子園のかかった試合での初めての決勝進出でした。昨年の夏以来ベスト4、優勝、3位と常に上位の成績を残してきて、今まで出し切れなかった力をコンスタントに発揮できるようになってきたと思います。今年がチャンスであることは誰もが期待しているところですが、まずは今までの練習の成果を信じ持てる力を発揮することが大事です。結果はついてくるものですから、周りの期待を力に変えて暑い夏を戦い抜いて欲しいですね。本校は12日高砂球場が初戦です。応援よろしくお願ひいたします。

6月30日には三草小学校の藤原校長先生が小学生が作ったお茶を本校に贈呈しに来られました。コロナ流行前に一緒に茶摘みをし、そのお茶を利用したお菓子作りをしていた関係でいただきました。ありがとうございました。また、同日道の駅とじょう生産者組織コスモス会平川嘉一郎事務局長が来られ、「山田錦」の素晴らしさについて講話していただきました。この学習を東条川疎水レシピ開発に活かして商品開発を進めてください。



新型コロナ新規感染者も増加傾向になってきました。熱中症防止と感染防止の両立は難しいですが自らの体調管理をしっかりとやって、周囲を確認してマスク着用等の対策をとってください。よろしくお願ひします。